

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 井原市役所		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒715-8601 岡山県井原市井原町311番地1	
本票作成	部署名：総務部総務課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	市民の生活環境において発生する様々なニーズ、社会福祉、まちづくり、文化振興、環境保全、産業の振興、安全確保、健康の確保等に対する事務事業を受け持ち、市民の福祉の向上に努めている。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	井原浄化センター		井原市七日市町4346番地	
	②	芳井健康増進福祉施設		井原市芳井町3996番地	
	③	井原市役所本庁舎		井原市井原町311番地1	
	④	西部いこいの里		井原市高屋町4丁目25番地2	
	⑤	偕楽園		井原市上出部町四季が丘20番地5	
⑥	井原市民会館		井原市井原町311番地1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 213 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス	基準年度(令和5年度)	(令和6)年度排出量	目標年度(令和6年度)
排出量	4,266 t CO ₂	4,075 t CO ₂	4,104 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量
	①	井原浄化センター	1,048 t CO ₂
	②	芳井健康増進福祉施設	591 t CO ₂
	③	井原市役所本庁舎	365 t CO ₂
	④	西部いこいの里	164 t CO ₂
	⑤	偕楽園	110 t CO ₂
⑥	井原市民会館	36 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：令和6年度～令和6年度(1箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	4.5 %	3.8 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		
	原単位当たり排出量		
	基準年度	(6)年度	目標年度
	CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

令和5年度に続き令和6年度においても市内主要公共施設のLED化等を行っており、省エネ設備への更新を進めながら、既存設備の不具合対応を行い、無駄のないエネルギー使用に努めている。
--

【推進体制】

市長をトップとした井原市役所地球温暖化対策推進委員会により、削減目標を国の方針に準じた設定、P D C A サイクルによる強化拡充を行うこととしている。
--

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
【LED化】 市民活動センター、早雲の里交流センター、井原市B&G美星海洋センター、井原市星の郷ふれあいセンター、芳井保育園、児童会館、公民館等 【不具合対応】 畑かん施設	(令和6年度実施分) 市内21箇所の公共施設についてLED化や井原市民会館の空調機について一部更新を行い既存設備を省エネ設備に更新を行っている。 また、畑かん施設の漏水不具合対応を行い、使用電力量を削減している。 (今後実施予定分) 西部いこいの里 冷凍・冷蔵施設の更新(令和8年度予定) 井原市民会館 空調機更新(令和9年度予定) 井原市役所本庁舎 空調機更新(令和9年度予定) 井原市やすらぎセンター 空調機更新(令和10年度予定) その他、故障等が生じた機器は、随時省エネ機器へ更新を行う。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	(令和5年度) 井原体育館において、地中熱を利用した空調設備、太陽光発電・蓄電池の導入に向け調査・設計を実施した。 (令和6年度) 井原体育館に上記設備を設置予定。
その他	無	

【その他特記事項】

令和5年3月に井原市エネルギー管理規定を改訂し、現状に合った設備の運用が出来るようにしている。
